

## ～平和への思い～

先日、平和学習の一環として「はだしのゲン」を全員で視聴しました。  
最初はアニメが見られるということでソワソワしている様子でしたが、上映が始まると全員静かに集中して観ていました。  
平和な時代に生きていることのありがたみをかみしめて、悲惨な戦争を起こさないようにこれからも協力して平和な世の中を作っていきたいですね！



はだしのゲンを視聴して戦争がおきて原子爆弾がおちたとしても「生きていたい」という人々の思いが伝わった。ゲンの父が言ったことは正しいと思うけど、それで非国民扱いされるのは悲しい時代だと感じた。今の日本が戦争をしないのは昔戦争を体験して悲しんだ人がいるからだと思ふ。毎日を感謝して生きていきたいと思ふ。  
2A B・H

原爆が投下されたときの様子を見て、本当にこのようなことが昔あったのかと信じられなくなるほど残酷なものだと知りました。今まで戦争はいけない、原爆で沢山の人が亡くなったんだと知識として理解はしてはただけで、当時の社会の様子は何も分かっていなかったなと感じました。目をそむけたくなるようなことだけど、しっかり当時の出来事、様子や原爆について知って、平和とは何なのか答えられるようになりたいと思ひました。  
2B K・N

食料がない中で、ゲンの家族に米をあげられる隣のおじさんはとても優しいと思ひました。どんな時代も助け合いの心があるんだと分かった。ゲンのお父さんとお姉ちゃんとお弟が柱に挟まっているとき、とても悲しくなりました。罪のない人が死ぬのは間違っていると改めて感じた。  
2A I・K

はだしのゲンを見て本当に戦争はこわいことだとわかりました。大切な人を原爆のせいで失ったりして町の人々が泣いているのを見てとてもかわいそうだなあと思ひました。絶対、こんな思いをみんなしたくないと思ひるので戦争は絶対にしてはいけないものだとわかりました。  
2B H・Y

今は「戦争は正しくない」という考えだけど、当時はそういう事を言ったら非国民と呼ばれるということが衝撃でした。救護のところで「生き残れそうな人だけ助けろ」と言っていたことが辛かった。選別しないとイケないくらい、多くの人々が負傷したんだなと思ひ知らされた。あの一瞬で、たくさんのものがうばわれていったのだなとこの時間を通してあらためて理解することができました。  
2A S・A

私は、ゲンの父と姉と弟の3人が柱の下じきになってうごけないところが特に印象に残りました。目の前で家族が苦しんでいるのに、助け出せず、逃げなければいけないところは本当に悲しかったです。この「はだしのゲン」を見て、原子爆弾の恐ろしさがどのくらいの人々を犠牲にし、苦しめたのか初めて詳しく分かりました。しかも、原子爆弾は人間が作り出したものということが、とても恐ろしいです。私たちが今、この時代に生まれ、当たり前前の生活を送れているということは、当たり前じゃなく、とてもすごいことなんだと実感します。原子爆弾によって、犠牲になった人々、苦しんだ人々の事を想ひ、この先も、平和な日常を過ごせると良いなと思ひます。そして決して忘れることはないと思ひます。  
2B T・R

当時は、みんな戦争をすることは間違っていないと思ひていたけど私は間違いだと思ひ、これからもあってほしくないと思ひました。1回の原爆投下で20万人もの人が亡くなっていて、ゲンは母以外の家族がみんな死んでいて作者は相当辛かっただろうなと思ひました。見るのは怖くて悲しかったけど、日本人として当時の日本のことを知る機会ができてよかったです。  
2A N・A

原爆が落ちる前でも食料があまり足りなかったのに原爆が落ちてからは食料がもっと貴重になったと知った。もし、水などがみつかったら飲むことも知った。原爆の威力が映像だけでもあんなにすごいのに、現実でみたらと思うと怖くなった。今とは違って10円や100円がすごく貴重な時代だったと分かった。原爆の事についてより詳しく知れたので広島に行って興味を深めたい。  
2B S・A

一番見ていて怖かったことは人や建物が原子爆弾1つで簡単に吹き飛ばされるところでした。そしてそれで被爆した人は病気になったり体が不自由になりゲンの生活一瞬で崩壊するところも恐ろしかったです。親を原爆で亡くした子供はいきていくのも地獄なほどつらいのかなと思ひました。  
2B E・A

